

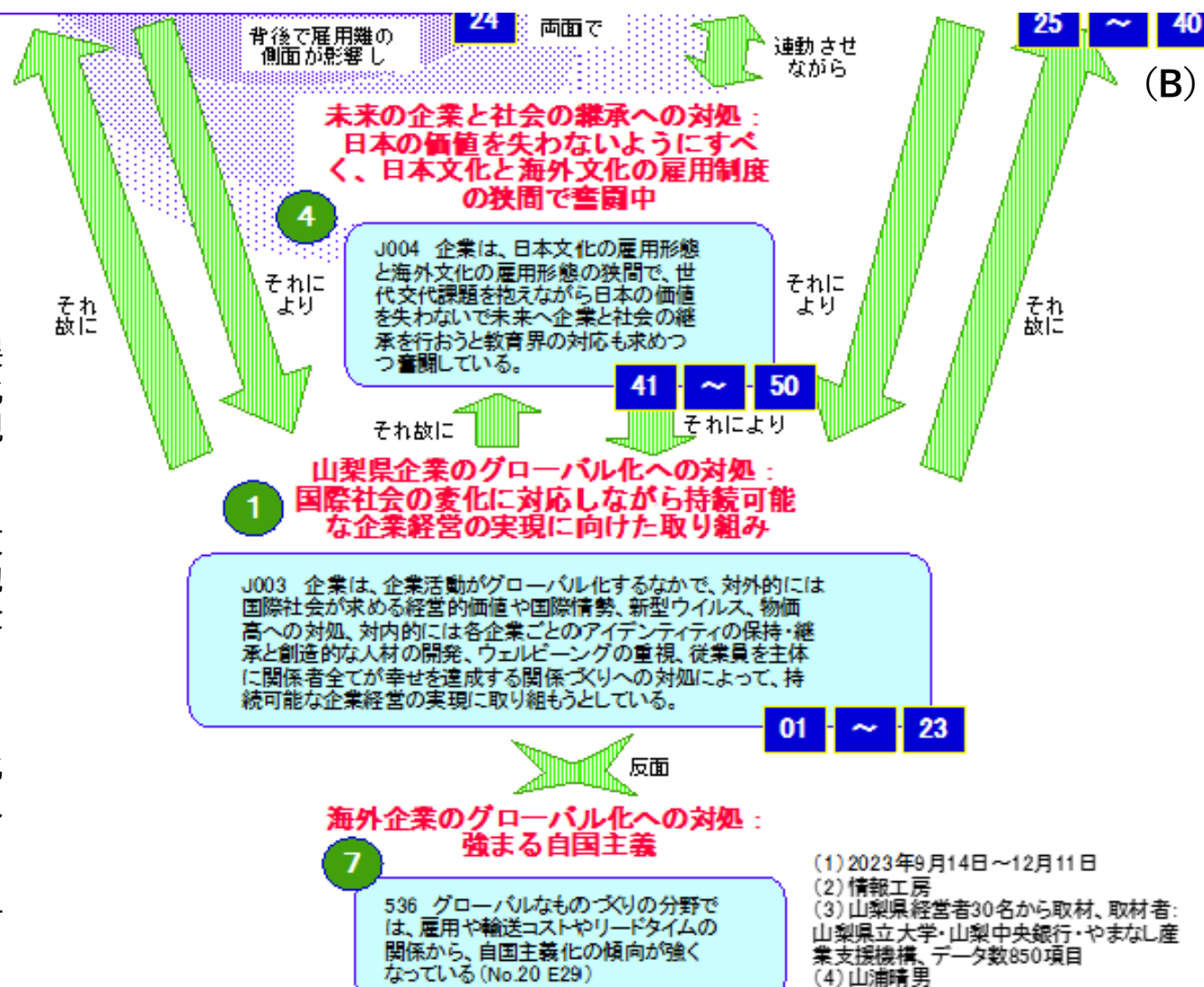
# 山梨県における地域を牽引する人材に関する経営者意識調査

調査方法	ヒアリングシートに基づくインタビュー方式（1時間程度）
調査対象	山梨県内30社の経営者
調査期間	2023年7月～8月
調査項目	①産業界を巡る時代の潮流の変化をどのように捉えているか ②企業経営者の観点から見て、どのような資質（基礎的な教養、考え方、社会人としての行動力など）と能力を備えた人材が魅力的か ③その上で、地域を牽引する人材として、高等教育機関（4年制大学の学部）卒業者に求められる具体的な資質と能力についてどのように捉えているか
分析方法	<u>850項目のデータを質的統合法（KJ法）により分析（R5.12報告書）</u>

# 山梨県における地域を牽引する人材に関する経営者意識調査概要

2023.07~12

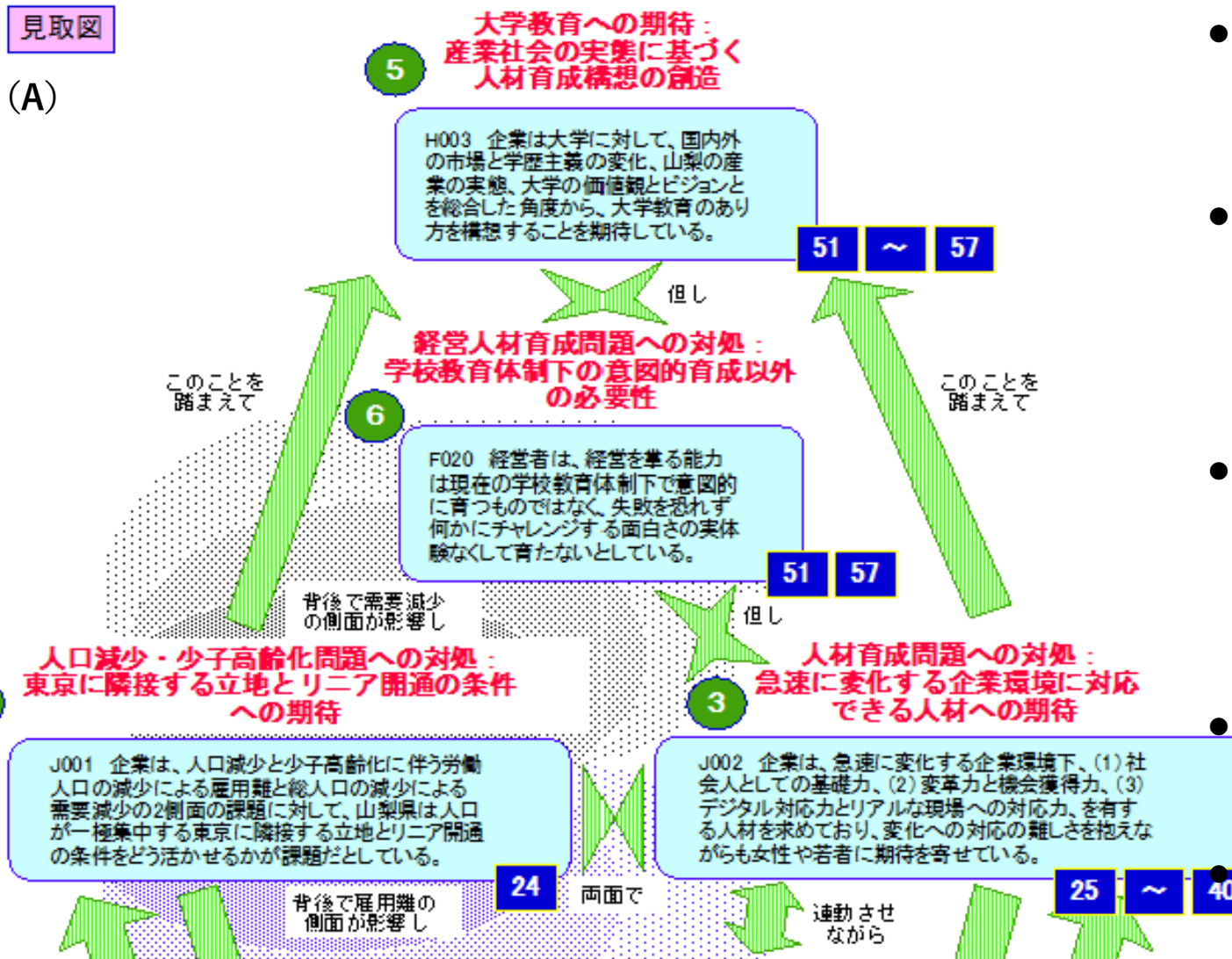
- 不確実 (VUCA) な現在、「海外企業のグローバル化への対応」は「強まる自国主義」であることと表裏一体 (536)
- グローバルなものづくりの分野では、雇用や輸送コストやリードタイムの関係から、自国主義化の傾向が強くなっており懸念 (536)
- とはいえ、経済のグローバル化が一層進展しており、山梨県企業が「国際社会の変化に対応しながら持続可能な企業経営を実現に向け、懸命に取り組んでいる。(J003)
- 県内企業は、日本文化の雇用形態と海外文化の雇用形態の狭間で、世代交代課題を抱えながら日本の価値を失わないで未来へ企業と社会の継承を行おうと教育界の対応も求めつつ奮闘(J004)
- また、地域社会では人口減少と少子高齢化に伴う労働人口の減少による雇用難と総人口の減少による需要減少の2側面の課題を抱え、山梨県は人口が一極集中する東京に隣接する立地とリニア開通の条件をどう活かせるかが課題 (次ページJ001)



(1) 2023年9月14日~12月11日  
 (2) 情報工房  
 (3) 山梨県経営者30名から取材、取材者：山梨県立大学・山梨中央銀行・やまなし産業支援機構、データ数850項目  
 (4) 山浦晴男

見取図

(A)



- こうした経営環境を前提に、「人材育成問題への対処」で、「急速に変化する企業環境に対応できる人材への育成が」喫緊の課題(J002)
- 企業は、(1)社会人としての基礎力、(2)変革力と機会獲得力、(3)デジタル対応力とリアルな現場への対応力、を有する人材を求めており、変化への対応の難しさを抱えながらも女性や若者に期待(J002)
- 特に、経営は、経営を掌握する能力は現在の学校教育下で、意図的に育つものではなく、失敗を恐れず何かにチャレンジする面白さを実体験なくしては育たない。(F020)
- また、山梨県の産業が目指すべき道は付加価値の高さで勝負すること(H003)
- こうしたことを踏まえ、企業は、国内外の市場変化の中で勝ち残るために、大学に対して山梨県の産業の実態を踏まえた教育・研究の角度から支援を望む。(H003)

## 2.企業と大学との連携 イメージ（調査内容 から）

### ①経営革新そのものへの協働

- ・well-be-ing、健康経営など、働き方改革に対応するか
- ・環境・社会・働く人とのエンゲージメントの絆
- ・社会に貢献することは前提で関係者（ステークホルダー）が幸せを達成する信頼関係を構築する
- ・地域経営資源をどのように承継していくか。
- ・人材投資、エンゲージメント、実行力と他者に頑張れる人

### ②外部要因とのコミットメント

- ・国際変化に対応しながら持続可能な企業経営を実現
- ・地球温暖化や環境問題、地政学的課題ダイバーシティ、ジェンダー、パンデミックなどリスク管理をどうするか
- ・人口減少・少子高齢化とリニア開通などのインパクト
- ・日本文化と諸外国の文化との雇用制度の狭間

### ③ステークホルダーとのエンゲージメント

- ・尊重しながら新しい価値を創造できる人
- ・研究開発の推進
- ・問題解決に組織的に取り組める人材
- ・個が強い時代に伴う、連帯の必要性が重要な組織
- ・生活共同体として経済活動を行う組織と個人生活とのバランスの立ち位置
- ・好奇心旺盛で開拓精神に富む斬新な発想を持つ
- ・精神的豊かさと社会常識、道徳観念、職業倫理

### 1) 産学連携（リエゾン）

- ・主体的な職業人生を歩めるよう期待し、社会で働ける意味を身につけて欲しい
- ・大学と企業との連携によるキャリアアップ出来る仕組み
- ・メンバーシップとジョブシップの連携制度の模索
- ・山梨の産業実態に即した人材育成と研究開発の支援

### 2) 共同研究（実証・実装）

- ・優秀な人材が地域に根を張りビジネスを立ち上げ社会貢献できる「まち」に
- ・経済的側面だけでなく新たな価値の追求へ
- ・国内外の市場と学歴変化、山梨の産業の実態、大学の価値観とビジョンとを統合した角度から大学教育のありかたを期待

### 3) (メイカーズ学科に絞った) 人材育成

- ・仕様書だけ、設計だけできる人材ではなく、製造設備の設定から材料の調達まで、自分で完結できるスーパーエンジニア
- ・デジタルな知識によるシステム対応が必須となるが、その土台としてリアルな企業固有の業務の知識・技術体験に基づく対応が必要
- ・従前にも求められるITリテラシー・データ分析マーケティングの能力
- ・インターンシップの強化（実学の徹底）

経済  
社会

教育  
・  
研究  
連携

産側

学側

### 3) (メイカーズ学科に絞った) 人材育成

- ・仕様書だけ、設計だけできる人材ではなく、製造設備の設定から材料の調達まで、自分で完結できるスーパーエンジニア
- ・デジタルな知識によるシステム対応が必須となるが、その土台としてリアルな企業固有の業務の知識・技術体験に基づく対応が必要
- ・従前にも求められるITリテラシー・データ分析マーケティングの能力
- ・インターンシップの強化 (実学の徹底)